2026年6月期 第3四半期決算短信（日本基準）（連結）

2026年5月11日

上場会社名　株式会社 高見澤　　上場取引所　東
コード番号　5283　URL https://www.kk-takamisawa.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）高見澤　秀茂
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役管理本部長　（氏名）小林　茂勝　TEL 026-228-0111
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	57,451	1.9	1,140	△17.0	1,372	△10.0	1,132	11.9
2025年6月期第3四半期	56,378	4.0	1,373	△2.6	1,524	△6.2	1,011	△8.2

（注）包括利益　2026年6月期第3四半期　1,336百万円　（22.3%）　2025年6月期第3四半期　1,093百万円　（△12.1%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	685.22	―
2025年6月期第3四半期	605.93	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期第3四半期	41,920	15,999	37.7	9,567.20
2025年6月期	38,851	14,748	37.4	8,801.57

（参考）自己資本　2026年6月期第3四半期　15,805百万円　2025年6月期　14,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	―	0.00	―	50.00	50.00
2026年6月期	―	0.00	―		
2026年6月期（予想）				70.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2026年 6月期の連結業績予想（2025年 7月 1日～2026年 6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	0.6	1,600	9.7	1,800	7.8	1,000	49.1	605.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 有

新規 ― 社 （社名） 、 除外 1 社 （社名） 岐阜電材株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	1,758,400 株	2025年6月期	1,758,400 株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	106,376 株	2025年6月期	106,376 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	1,652,024 株	2025年6月期3Q	1,669,699 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の好調さが持続するとともに、デジタル化や脱炭素化を背景とした投資意欲が官民問わず概ね堅調に推移し、重点分野を中心に設備投資は底堅く推移しました。一方で、物価及び金利の上昇や実質賃金の伸び悩みを背景に、個人消費にはやや慎重な動きがみられ、景気は力強さを欠く状況が続きました。また、人件費の上昇やエネルギーをはじめとする各種コストの増加が、企業収益や家計収支への負担要因となっています。さらに、ウクライナや中東情勢の動向、アジア太平洋地域における米中関係の緊張、中国経済の減速、米国の通商政策の影響などを背景に、地政学的リスクがグローバル経済の不確実性を高めています。とりわけ、中東情勢を含む国際情勢の変化は、エネルギー価格や物流コストを通じて経済に影響を及ぼす要因となっています。加えて、円安基調の長期化に伴う輸入物価の動向や、米国の関税政策が外需関連産業に与える影響なども踏まえ、国内経済の先行きについては、引き続き注視が必要な状況にあります。

このような経営環境の中にあって、当社グループの当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高57,451百万円（前年同四半期比1.9％増）、営業利益1,140百万円（前年同四半期比17.0％減）、経常利益1,372百万円（前年同四半期比10.0％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,132百万円（前年同四半期比11.9％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは、第１四半期連結会計期間より、各セグメント利益又は損失をより適切に把握するために、従来配分していない全社費用の一部について、各報告セグメントへセグメント資産及び人件費を基に按分する方針に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第３四半期連結累計期間のセグメント利益が、「建設関連事業」で98百万円減少し、セグメント損失が、「カーライフ関連事業」で92百万円、「その他事業」で79百万円それぞれ増加しております。

①　建設関連事業

公共向け及び民間向けともに需要が低調に推移し、生産効率の改善による原価低減や付加価値の向上に努めたものの、人件費、材料費及び販売費の増加を吸収しきれず、減収減益となりました。

この結果、建設関連事業の売上高は6,826百万円（前年同四半期比4.1％減）、営業利益は206百万円（前年同四半期比36.6％減）となりました。

②　電設資材事業

公共向け及び民間向けともに、省エネ・省力化や環境負荷低減に係る設備投資案件に対する積極的な営業活動により販売が好調に推移し、人件費及び販売経費等は増加したものの、増収増益となりました。

この結果、電設資材事業の売上高は31,111百万円（前年同四半期比7.5％増）、営業利益は1,072百万円（前年同四半期比21.6％増）となりました。

③　カーライフ関連事業

石油部門では、燃料油の小売販売量が前年を下回ったものの、法人向け産業用燃料については積極的な顧客拡大により販売量は増加しました。一方で、販売競争の激化に加え、政府の暫定税率廃止に向けた補助金拡充政策の影響により販売価格が低下したことから、減収となりました。また、競合環境の悪化による利幅の減少に加え、人件費及び販売費の増加を吸収しきれず、減益となりました。

オート部門では、自動車販売台数は前年並みを確保したものの、整備関連売上が低調に推移したことから減収となりました。また、人件費及び販売費の上昇に加え、新店舗に係る費用が増加したことにより、減益となりました。

この結果、カーライフ関連事業の売上高は13,531百万円（前年同四半期比4.5％減）、営業損失は4百万円（前年同四半期は営業利益168百万円）となりました。

④　その他事業

フード関連事業において、農業関連部門では、農産物取扱高は概ね前年並みを確保したものの、天候不順の影響による原価高により利幅が減少しました。また、主力のきのこ培地販売においては、積極的な受注活動により販売量は増加したものの、価格競争の激化を背景に、原材料費、人件費及び諸経費の増加に伴う原価上昇分を価格転嫁しきれず、増収減益となりました。

飲食料品部門では、家庭内消費が伸び悩んだことに加え、原材料費、人件費及び諸経費の上昇により、減収減益となりました。

エステート関連事業において、不動産部門では、資材価格や労務費などの上昇による不動産価格の高止まりを背景に需要が低調に推移し、積極的な受注活動及び原価低減に努めたものの、減収減益となりました。

この結果、その他事業の売上高は5,980百万円（前年同四半期比2.6％減）、営業損失は119百万円（前年同四半期は営業利益141百万円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は23,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,263百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が2,160百万円増加したことによるものであります。固定資産は18,908百万円となり、前連結会計年度末に比べ805百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が389百万円、投資有価証券が397百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、41,920百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,068百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は17,166百万円となり、前連結会計年度末に比べ940百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が398百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,463百万円増加したことによるものであります。固定負債は8,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ877百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が642百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、25,920百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,817百万円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は15,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,251百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,132百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は37.7％（前連結会計年度末は37.4％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年８月８日の「2025年６月期　決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,380	3,635
受取手形、売掛金及び契約資産	12,300	14,461
商品及び製品	3,217	4,049
仕掛品	8	6
原材料及び貯蔵品	389	401
その他	544	523
貸倒引当金	△91	△66
流動資産合計	20,748	23,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,237	12,443
減価償却累計額	△6,922	△7,125
建物及び構築物（純額）	4,315	5,318
機械装置及び運搬具	7,334	7,337
減価償却累計額	△5,419	△5,545
機械装置及び運搬具（純額）	1,915	1,792
土地	7,153	7,323
リース資産	516	601
減価償却累計額	△235	△259
リース資産（純額）	280	342
建設仮勘定	745	18
その他	2,038	2,088
減価償却累計額	△1,789	△1,835
その他（純額）	249	252
有形固定資産合計	14,659	15,048
無形固定資産		
のれん	72	65
その他	310	331
無形固定資産合計	383	396
投資その他の資産		
投資有価証券	1,142	1,539
繰延税金資産	1,072	1,061
その他	2,299	2,182
貸倒引当金	△1,454	△1,321
投資その他の資産合計	3,060	3,462
固定資産合計	18,102	18,908
資産合計	38,851	41,920

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,903	10,367
短期借入金	4,096	4,051
リース債務	108	115
未払法人税等	347	118
賞与引当金	789	391
その他	1,980	2,122
流動負債合計	16,226	17,166
固定負債		
長期借入金	5,102	5,744
リース債務	222	278
繰延税金負債	11	70
再評価に係る繰延税金負債	383	383
退職給付に係る負債	1,658	1,714
役員退職慰労引当金	255	277
環境対策引当金	95	95
資産除去債務	66	109
その他	78	78
固定負債合計	7,875	8,753
負債合計	24,102	25,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
資本剰余金	0	0
利益剰余金	12,517	13,567
自己株式	△183	△183
株主資本合計	13,598	14,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	409	670
土地再評価差額金	310	310
為替換算調整勘定	156	109
退職給付に係る調整累計額	66	67
その他の包括利益累計額合計	941	1,157
非支配株主持分	208	194
純資産合計	14,748	15,999
負債純資産合計	38,851	41,920

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年７月１日 至　2025年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2026年３月31日）
売上高	56,378	57,451
売上原価	47,008	47,989
売上総利益	9,369	9,462
販売費及び一般管理費	7,995	8,321
営業利益	1,373	1,140
営業外収益		
受取利息	8	12
受取配当金	19	11
持分法による投資利益	16	－
為替差益	－	24
仕入割引	139	156
不動産賃貸料	24	24
貸倒引当金戻入額	13	123
その他	83	89
営業外収益合計	306	441
営業外費用		
支払利息	66	89
為替差損	15	－
売上割引	26	30
支払補償費	2	63
その他	44	25
営業外費用合計	155	209
経常利益	1,524	1,372
特別利益		
固定資産売却益	0	8
特別利益合計	0	8
特別損失		
固定資産売却損	－	0
固定資産除却損	12	11
投資有価証券評価損	1	2
役員退職慰労金	1	－
特別損失合計	15	13
税金等調整前四半期純利益	1,509	1,366
法人税、住民税及び事業税	347	346
法人税等調整額	158	△100
法人税等合計	506	245
四半期純利益	1,003	1,120
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△8	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,011	1,132

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年７月１日 至　2025年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2026年３月31日）
四半期純利益	1,003	1,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	260
土地再評価差額金	△11	－
為替換算調整勘定	△4	△46
退職給付に係る調整額	7	1
持分法適用会社に対する持分相当額	14	－
その他の包括利益合計	90	216
四半期包括利益	1,093	1,336
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,103	1,347
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	△10

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2024年７月１日　至　2025年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	建設関連	電設資材	カーライフ関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,117	28,945	14,173	50,236	6,141	56,378	－	56,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	44	200	254	33	287	△287	－
計	7,126	28,990	14,373	50,490	6,175	56,665	△287	56,378
セグメント利益	324	881	168	1,375	141	1,516	△142	1,373

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フード関連事業、エステート関連事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△142百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2026年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	建設関連	電設資材	カーライフ関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,826	31,111	13,531	51,470	5,980	57,451	－	57,451
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	41	193	250	40	291	△291	－
計	6,842	31,153	13,725	51,721	6,020	57,742	△291	57,451
セグメント利益又は損失（△）	206	1,072	△4	1,273	△119	1,154	△13	1,140

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フード関連事業、エステート関連事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△13百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第１四半期連結会計期間より、各セグメント利益又は損失をより適切に把握するために、従来配分していない全社費用の一部について、各報告セグメントへセグメント資産及び人件費を基に按分する方針に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第３四半期連結累計期間のセグメント利益が、「建設関連事業」で98百万円減少し、セグメント損失が、「カーライフ関連事業」で92百万円、「その他事業」で79百万円それぞれ増加しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年７月１日 至　2025年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2026年３月31日）
減価償却費	613百万円	733百万円
のれんの償却額	7	7